RIBF-ULIC-miniWS-009

仁科センター共用促進・産業連携部公募研究会 申請書 (mini-WS用)

提出年月日： 2011年10月3日
提出先： sympo-kyoyo[at]ribf.riken.jp

1) 開催予定日・場所

日程： 2011 年 10 月 5 日 (yyyy/mm/dd) ～ 2011 年 10 月 5 日 (yyyy/mm/dd) (開催日数 1 日間)
場所： RIBF棟2階小会議室（２０３）

※ 事前に仁科センターのセミナー委員会（ npsoc@ribf.riken.jp ）に連絡し、日程重複を避けるようにしてください。

2) タイトル

英文 (※必須)	Possibility of Direct Mass Measurements of Super Heavy Elements
和文	超重元素の直接質量測定の可能性

※ 採択された研究会はRIKEN Accelerator Progress Report に掲載するため英文タイトルは必須です。

3) 目的 (400字以内・書式自由)

理研のRILACおよびGARIS（GARIS2含む）は世界最強の超重元素製造施設である。元素113の発見ばかりでなく重元素の化学特性の測定等が進められている。一方、理研仁科センターの低速RIビーム生成装置開発チームではかねてより、「高周波カーペットイオンガイド法」による高速RIビームの減速冷却機構と「多重反射型飛行時間測定式質量測定器」の開発を行ってきた。これらの技術をGARISに組み合わせることにより、20%程度の高効率かつ、生成から測定終了まで20ms程度の短時間で質量分解能200,000を実現できる見込みである。この研究を開始する上で、超重元素の直接質量測定の意義を再確認し、目標とする原子核の選定、効率的実験遂行手順を確認するためにミニワークショップを開催する。

4) 世話人

世話人全員を記入。欄が不足する場合は行をコピーしてください。

	氏名	所属機関	電話	E-mail
世話人 1	和田道治	仁科センター	4775	mw@riken.jp
世話人 2	森田浩介	仁科センター		morita@ribf.riken.jp
世話人 3				
RIBF内世話人				

※ 理研RIBF内に世話人がいない場合は事務局へご連絡ください。

5) 参加予定者・補助概算額

欄が不足する場合は行をコピーしてください。

氏名	所属機関	旅費補助 ※補助予定者についてのみ記入				
		交通費概算		宿泊費概算		
		経路	金額	単価	泊数	宿泊費計
小浦寛之	JAEA	東海一上野一和光市	￥ 4,520	￥ 2,700	1	￥ 2,700
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
						￥ -
合計		￥				7,220

参加予定者全員の氏名・所属機関を記入し、旅費補助予定者については補助概算額を記入してください。

【注意事項】
- 外国から招へいする場合は、日本国内の旅費と宿泊費をサポートします。
- 東京都・埼玉県内に勤務する参加者は旅費補助の対象外です。
- サポートは実費です。
- 宿泊費は6,720円／泊を上限とします。

■ お茶代

ミニワークショップについてのお茶代の補助はありません。

補助申請額合計	￥ 7,220

※ 上限：150,000円